

西洋古代史研究

Acta Academiae Antiquitatis Kiotoensis

第 21 号

Tomus XXI

目 次

《研究ノート》

「四王国分立時代」再考 阿部拓児 (1)

《書評》

岸本廣大『古代ギリシアの連邦：ポリスを超えた共同体』 藤井崇 (19)

Jörg Rüpke, *Pantheon: A New History of Roman Religion* 小雲立也 (25)

《京都大学南川ゼミの28年：1993年～2021年》

.....阿部拓児／井上文則／海野ますみ／大野普希／岡本幹生／
小山田真帆／岸本廣大／木下皓司／栗原麻子／桑山由文／
酒嶋恭平／佐野光宜／杉本陽奈子／中道嵩行／南雲泰輔／
西村昌洋／野崎由利子／疋田隆康／藤井崇／増永理考／山内暁子 (33)

《古代史研究会の記録：2002年3月～2021年3月》 (69)

編集後記 藤井崇

京 都 大 学

2021

本号の執筆者（執筆順）

阿部拓児	京都府立大学文学部准教授（古代ギリシア史を専攻）
藤井崇也	京都大学大学院文学研究科准教授（ヘレニズム時代史、ローマ史を専攻）
小立立也	京都大学大学院文学研究科修士課程（ローマ史を専攻）
小井上文則	早稲田大学文学学術院教授（ローマ史を専攻）
海野ますみ	SAGE Publications Asia-Pacific Pte. Ltd.（古代ギリシア史を専攻）
大野普希	京都大学大学院文学研究科博士後期課程（ローマ史を専攻）
岡本幹生	京都大学大学院文学研究科博士後期課程（ローマ史を専攻）
小山田真帆	京都大学大学院文学研究科博士後期課程（古代ギリシア史を専攻）
岸本廣大	同志社大学文学部助教（ヘレニズム時代史、ローマ史を専攻）
木下皓司	キーエンスソフトウェア株式会社（ローマ史を専攻）
栗原麻子	大阪大学大学院文学研究科教授（古代ギリシア史を専攻）
桑山由文	京都女子大学文学部教授（ローマ史を専攻）
酒嶋恭平	エディンバラ大学歴史・古典・考古学学科博士課程（古代ギリシア史を専攻）
佐野光宜	京都女子大学非常勤講師／河合塾英語科講師（ローマ史を専攻）
杉本陽奈子	東北大学大学院文学研究科助教（古代ギリシア史を専攻）
中道嵩行	株式会社三菱ケミカルホールディングス（ローマ史を専攻）
南雲泰輔	山口大学人文学部准教授（ローマ史、ビザンツ史を専攻）
西野村昌洋	龍谷大学非常勤講師（ローマ史を専攻）
野崎由利子	無所属（ローマ史を専攻）
疋崎隆康	京都女子大学等非常勤講師（ケルト史を専攻）
増永理考	京都大学人文学連携研究者（ローマ史を専攻）
山内暁子	佛敎大学等非常勤講師（古代ギリシア史を専攻）

編集後記

『西洋古代史研究』第21号をお届けします。本誌を創刊され20年間にわたり編集を担当された南川高志先生は、2020年度で京都大学を退職されて本学名誉教授となり、本年度からは佛敎大学歴史学部特任教授として、引き続き西洋古代史の教育・研究に携わっておられます。本号は、研究ノート1編と書評2編にくわえて、京都大学大学院で南川先生のご指導を受けた同窓有志によるエッセイと、南川先生が運営に尽力された古代史研究会の記録を掲載しております。それぞれのエッセイや各年の古代史研究会の情報は断片的なものに過ぎませんが、総体としてみると、西洋史学や西洋古代史研究の関心の変遷や、教育・研究環境の変化を映し出す、有益な歴史資料になったように思います。ご検討いただければ幸いです。

本号より私が編集を担当し、これまでと同じく、京都大学西洋史専修の西洋古代史分野の研究成果報告書として本誌の刊行を継続していきたいと思っております。南川先生が編集を担当された間に、西洋古代史の重要テーマや研究をめぐる環境にはさまざまな変化がありましたし、同様の変化はこれからも起こり続けるでしょう。それにともなって、本誌の内容も少しずつ変わっていくかもしれません。しかし、西洋古代史研究の成果を同時代に幅広く、後世に末長く伝える「器」としての本誌の意義は、変わることがないと信じております。今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本号を、28年にわたって京都大学西洋史研究室で古代史分野の時代別ゼミを運営し、20年にわたって本誌を支えてこられた南川先生に捧げることをお許しいただきたいと思っております。（藤井崇）

令和3年12月10日発行

西洋古代史研究 第21号

発行者 京都大学大学院文学研究科 藤井崇

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL. 075-753-2779

印刷 株式会社田中プリント

〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入
石不動之町677-2

TEL. 075-343-0006

Acta Academiae Antiquitatis Kiotoensis

The Kyoto Journal of Ancient History

Tomus XXI

Vol. 21

Review Article:

The Post-Assyrian Period: Media, Elam, and Persia Takuji ABE (1)

Reviews:

Kota Kishimoto, *Koinon, Polis and Ethnos: A New Historical View of Ancient Greece from Their Relationships* Takashi FUJII (19)

Jörg Rüpke, *Pantheon: A New History of Roman Religion* Tatsuya OGUMO (25)

Essays:

Seminar of Professor Takashi Minamikawa: 1993-2021
 Takuji ABE/ Fuminori INOUE/ Masumi UNNO/ Fuki ONO/
 Mikio OKAMOTO/ Maho OYAMADA/ Kota KISHIMOTO/
 Koji KINOSHITA/ Asako KURIHARA/ Tadafumi KUWAYAMA/
 Kyohei SAKESHIMA/ Mitsuyoshi SANO/ Hinako SUGIMOTO/
 Takayuki NAKAMICHI/ Taisuke NAGUMO/ Masahiro NISHIMURA/
 Yuriko NOZAKI/ Takayasu HIKIDA/ Takashi FUJII/
 Masataka MASUNAGA/ Akiko YAMAUCHI (33)

Miscellaneous:

History of the Society for the Study of Ancient History, from March 2002 to March 2021
 (69)

Editor's Notes Takashi FUJII

Kyoto University

2021